

自費研ご担当者様

先日当協会より貴団体に送付した公開質問状に関して、ご回答いただきありがとうございました。

当協会は長年我が国の美容医療の健全化に取り組んでおりますが、現在もなお不適切な美容医療、会計トラブルなどが発生しておりその途は半ばと言わざるを得ません。

美容医療の問題は複合的で多々あるかとは思いますが、その一つに美容医療を医療の一分野ではなくビジネス（金儲け）の手段と考えている人間の参入があげられます。

貴団体も医師の就職先斡旋というビジネスを行っておられますが、医療は他の他分野と異なり人体の健康や生命に直接的な影響を与える業界です。その業界に美容医療はお金が儲かるから参入したという医師が増えているという実態に我々は心を悩ませております。

結局そのような志の低い人間が多数占めることになると美容医療全体が国民からの信頼を失い、結果的に自分の首を絞めることになるのだらうと思えます。

また女性医師の研修についても「女性医師は専門医資格を取るとなると結婚や出産を断念せざるを得ない」という内容に対して、当協会には数多くの会員から不満の声が届きましたことも貴団体にお知らせすべきと思えます。またその記事を書いた記者がお名前から拝察するに女性と思われ、その点についても貴団体の組織統治に問題があるという強い反発の意見が多数あったこともお知らせします。当該記者の方は自分の書いた原稿の意味について余り深くお考えにならなかったのだと思えますが、ご自身の見識の浅薄さをよく自戒されたことと思えます。

頂いた回答で全面的にご意見を撤回されたと理解しましたので、この件に関してはこのお返事を持ちまして幕引きとしたいと思います。

貴団体は今後も美容医療領域でビジネスを行っていかれると存じますが、目先の利益だけを追求していくと、結局は美容医療が一般化せず特殊なマーケットという数十年前の状態に戻ってしまうことが危惧されます。

貴団体におかれましてはこの数十年で日本の美容医療がなぜ、どのように発展したのか、その中には先人の涙ぐましい努力があったのだということをお忘れなく、共に安心安全な美容医療を普及推進することに尽力いただきたく存じます。

尚、この書面も当協会のHPにて公開しますことをご了解願います。

日本美容医療協会 理事長 青木律